

1. 遺跡名 城際遺跡
(じょうぎわ)
2. 所在地 海老名市岡田
3. 時代 古墳時代～中世・近世
4. 調査概要

本遺跡は小田急線本厚木駅南南東約1.8km、相模川中流域右岸に形成された沖積微高地上に立地する。標高は約16m。

今回の調査は日本道路公団による東名高速道路改築事業に伴う事前調査として実施しているものです。

今までの調査では古墳時代・古代・中世・近世の遺構や遺物が発見されています。

古墳時代では竪穴住居跡や溝状遺構・土坑、古代では住居跡・土坑・ピットが発見されました。中世は遺跡の中心をなす時代で、礎石建物跡・掘立柱建物跡・大溝・井戸跡などが検出されています。また遺物も豊富で、杓子・漆椀・木製付け札・輸入磁器・陶器・五輪塔などが出土しています。時期は15～16世紀が主。中世居館の可能性がある良好な遺構群であるといえます。



遺跡の位置



中世の溝状遺構



古墳時代前期の住居跡